

**平成27年度 置戸町行政評価委員会報告**

**(平成26年度分)**

**置戸町行政評価委員会**

# 置戸町行政評価委員会報告

## 1. はじめに

置戸町では、行政改革大綱に基づく行政改革の取り組みの一つとして、平成16年度に行政評価システムを導入しました。この行政評価では、行政の内部評価と町民による外部評価を取り入れ、評価結果を町民と行政とが共有することで協働のまちづくりを目指すとしてきました。

また、まちづくり基本条例にあつては「町民のための行政」として行政評価が条文化され、第5次置戸町総合計画でも「町民と行政による協働の推進」を実現することがうたわれ、住民参加が求められています。

今年度の行政評価は、平成26年度に委嘱された委員による2年目の評価となります。昨年度の反省やこれまでの経過を活かしつつ、委員会の設置目的、役割を考えながら各種事務事業について議論を重ねました。

本委員会において開催された4回の会議から、委員会としての意見を以下のとおり取りまとめ報告いたします。

## 2. 委員会の開催状況

平成27年度の行政評価委員会は、次のとおり4回開催しました。

- (1) 第1回委員会 ～ 平成27年11月 5日（木）
  - ・選定した事務事業の確認及び評価作業
- (2) 第2回委員会 ～ 平成27年11月16日（月）
  - ・前回の評価した事務事業の評価内容の確認及び評価作業
- (3) 第3回委員会 ～ 平成27年11月30日（月）
  - ・前回の評価した事務事業の評価内容の確認及び評価作業
- (4) 第4回委員会 ～ 平成27年12月 7日（月）
  - ・前回の評価した事務事業の評価内容の確認
  - ・主管課・内部評価と外部評価で異なる結果となった事務事業の担当部局との意見交換
  - ・平成27年度置戸町行政評価委員会報告書（平成26年度分）の確認

### 3. 評価方法について

今年度の評価事務事業の選定にあたっては、255件の行政評価調書の中から、18件の事務事業について評価を行いました。

また、事務事業を選定する際は、過去に評価対象となった事務事業についてできるだけ選定しないよう心掛けました。

評価については、平成26年度分の事務事業に対する委員会としての評価を簡潔に記載しました。主管課評価が適正であると判断し、同じ評価となった事務事業については、委員会としての参考意見を記載し、主管課評価と異なる評価となった事務事業については、その理由を記載しています。

主管課評価と異なる評価となった事務事業については、担当課の課長とも意見交換を行い、事務事業内容の理解を深めたうえでの評価となるよう努めました。

### 4. 評価内容報告

昨年、国は地方創生法案を掲げ、地域創生を最重要課題としました。すべての都道府県及び市町村において、平成27年度中に「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」を策定し、人口減少対策や雇用対策等の政策を進めなければなりません。

また、一億総活躍社会の実現と、そのために放つ矢として「新三本の矢」を打ち出しました。

置戸町が存続していくためにも、事務事業の見直しをはじめ、施策や事業の優先化・重点化を厳しく精査していくことが必要であると考えます。

今回、18件の事務事業について評価を行いました。評価を進めるにあたっては財政効率だけでなく、置戸町や町民に必要な事業として、より良く進められているかを意識し評価しました。

本委員会の評価結果については、18件中16件の事務事業が概ね主管課・内部評価のとおりであると判断し、2件の事務事業が主管課・内部評価と異なる結果となりました。主管課・内部評価のとおりと判断した事務事業についても、評価作業の中で多くの議論が交わされ、評価した事業がより良く進められていくように参考意見として付記しました。

これらの意見が行政内部で議論され、本年度実施の事務事業や平成28年度予算に反映されることを期待します。

本年度の評価作業を終え、これまでの行政評価委員会としての役割を踏まえ、この委員会の活動が、第5次置戸町総合計画が目指すまちの将来像である「自然を愛し、人にやさしいまちづくり」の実現に役立つことを願います。

## 5. 各委員の感想

それぞれの委員から、本年度の行政評価委員会の評価作業等について、感想や意見を付記します。

### ■ 行政評価調書の構成・文章の表現について

- ・評価調書の記載でわかりづらい事業内容の表現があった。
- ・評価調書だけではあまり事業内容がわからない所もあった。事務局の説明である程度理解できた。
- ・特に気になる点はなかった。
- ・わからない点が多く、力不足で申し訳なかった。
- ・評価調書で内容がわかりにくい事業があっても、資料の添付で理解できた。
- ・説明を聞きながら納得する所はあったが適切だったと思う。

### ■ 評価対象数と委員会の開催回数について

- ・18件くらいの評価件数と委員会の開催数で良かった。
- ・評価期間が短かったので、これ以上の件数を評価するのは難しかったと思う。
- ・適当だと思う。(3件)
- ・今回は短い期間に18件で盛り沢山に感じた。
- ・昨年より会議の時間がかかった。

### ■ 事務事業の選定・評価方法について

- ・前年の評価した事業を再度評価しないように選定するので良い。
- ・選定方法は良いと思うが、評価方法についてもっと活発な意見が出ると良かったのではないかな。
- ・全体の件数が多く選定するのが大変だった。評価対象事業の項目で類似した事業をまとめられないだろうか。
- ・225件の中から抽出するのは時間がかかった。
- ・数多く評価対象となっている事業は、町民の気になる事業として追跡評価をしてはどうか。
- ・過去に数回評価されている事業について改善が見られない。
- ・このままで良い。

## ■ 評価作業を実施して

- ・開催時期は良い。わからなかった事業など意見を出せるので良い。
- ・開催時期が遅かったのでとても慌ただしかった。
- ・最後の会議が、ギリギリの時期になってしまうので、もう少しゆとりを持って開催した方が良い。
- ・短期集中で良かった。
- ・個人的に忙しくない時期で良かった。1回の会議にかかる時間を考えると開催時期をもう少し早くても良いと思う。
- ・疑問に思っていたことやこの事業はこの課といったことがわかって良かった。

■ 平成26年度分 置戸町行政評価委員会評価（外部評価）結果

※ 主管課・内部評価と異なる評価結果となった事務事業については、それぞれの評価内容についても記載しています。

1 No.001

事務事業名	置戸町開町100周年記念事業実行委員会交付金 町づくり企画課
評価	<u>「内容を変更し継続（予算・事業内容：拡大）」</u> 100年に一度の事業として、複数年かけて町民と協議して進めていることから継続すべき。
参考意見	こども実行委員会の「おけと100周年まつり」など、町民が主体的になって実施し評価の高かった事業について、100年に一度でなく継続するようにしてはどうか。

2 No.023

事務事業名	置戸町住民まちづくり活動支援補助金 町民生活課
評価	<u>「このまま継続」（主管課・内部評価のとおり）」</u> 住民が主体的に活動できるよう、このまま継続すべき。
参考意見	定期的に制度のPRを行い、利用促進を図ることを望む。また、3分の1の負担が利用しづらい原因にもなっているのではないかと思われることから、補助率等内容を見直し、町民が利用しやすい制度としてはどうか。

3 No.026

事務事業名	置戸町防犯協会運営事業補助金 町民生活課
評価	<u>「このまま継続」（主管課・内部評価のとおり）」</u> 防犯診断や防犯パトロールを実施し、町内の防犯対策や注意喚起に努めていることから、このまま継続すべき。
参考意見	近年、不審者や車上荒らしが増えていることから、町民の危機意識の向上を図る取り組みを進めてほしい。また、本事業ではないかも知れないが、車上荒らし発生箇所は暗いところが多いことから、防犯灯の設置など対策を講じてほしい。

4 No.037

事務事業名	じん芥処理事業（指定ごみ袋） 町民生活課
評価	<u>「このまま継続」（主管課・内部評価のとおり）</u> 人口減少に伴い、一人当たりのごみ処理費用が増加しているが、町民負担を増やさないように継続すべき。
参考意見	町民負担を増やさない中で、指定ごみ袋の強度を良くしてほしい。

5 No.049

事務事業名	置戸町ふるさと運動推進協議会交付金 町民生活課
評価	<u>「このまま継続」（主管課・内部評価のとおり）</u> 置戸町にゆかりのある人等のふるさと意識の高揚を図るために、継続すべき。
参考意見	若年層の加入が少ないことから、積極的なPRや加入促進策を図ってほしい。また、町外で実施するオケクラフト展や観光振興等と連携を図ってはどうか。

6 No.092

事務事業名	絆の森整備事業 産業振興課
評価	<u>「このまま継続」（主管課・内部評価のとおり）</u> 町有林整備のために補助事業を活用しており、今後も継続すべき。
参考意見	有効な補助事業の活用を望む。

7 No.094

事務事業名	交流促進センター管理 産業振興課
評価	<u>「内容を変更し継続（その他：改修計画及び休業中の維持管理）」</u> <u>（主管課・内部評価のとおり）</u> 町内唯一となった温泉施設であり、改修等計画的に進め、早期に再開するべき。
参考意見	多くの人に来てもらえるような周辺整備を進めてほしい。

事務事業名	果実・園芸作物圃場事業 産業振興課
主管課評価	<p><u>「このまま継続」</u></p> <p>置戸町の特産品として、「おけとワイン」をはじめ「木いちご羊羹」などの原料を生産・提供する圃場として重要な役割を果たしていることから、このまま継続する。ただし、栽培を継続するためには、安定した収量確保が必要であることから、現状の収量不足改善のため苗木の更新、土壌改良を行う必要がある。また、ぶどう棚の更新と併せて団地の集約化を進めていく。</p>
内部評価	<p><u>「このまま継続」</u></p> <p>主管課評価に同じ</p>
外部評価	<p><u>「内容を変更し継続（予算・事業内容：拡大）」</u></p> <p>ぶどうの生産量やワインの販売量が減少しており、続けるのであれば特産品としてもっと力を入れて進めるべき。</p>
理由	<p>収支も赤字であり特産品としての流通が乏しいため、職員体制の改善や苗木の更新等による徹底した増産体制を図るべき。</p> <p>今後も同じ方法で続け、改善されなければ廃止すべき。</p>

事務事業名	公園管理 産業振興課 ----- 児童遊園地管理 地域福祉センター
評価	<p><u>「その他（境野公園の運動公園としての管理運営を協議していく）」</u> <u>（主管課・内部評価のとおり）</u></p> <p>-----</p> <p><u>「このまま継続」（主管課・内部評価のとおり）</u></p> <p>置戸地区で遊べる遊具が少なく、児童遊園地の再編を進めるとしていることから、このまま継続すべき。</p>
参考意見	<p>置戸地区において、再編して1か所にする場合は、親子で訪れることが多い町立図書館周辺で検討してはどうか。また、町民が集いやすい日陰や噴水があり、安全に子どもたちが遊べるようなまとまった遊具を設置してほしい。</p>

1 1 No. 1 0 3

事務事業名	イベント広場管理 産業振興課
評 価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> イベント広場だけでなく、銀河線跡地の区間内の草刈り等環境整備を行っていることから、このまま継続すべき。
参考意見	木道プロムナード等の計画が進むまで、これまで同様の環境整備の継続を望む。

1 2 No. 1 0 6

事務事業名	若者交流センター管理 産業振興課
評 価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 町内に宿泊施設が少ないことから継続するべき。
参考意見	所管替えとなったことから、施設名称や目的を変更し宿泊施設として力を入れることを望む。

1 3 No. 1 1 0

事務事業名	道路維持(修繕料) 施設整備課
評 価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 道路の維持・管理は必要であることから、このまま継続すべき。
参考意見	亀裂や雑草、マンホールの浮き沈み等が以前より見受けられることからこまめな修繕を望む。また、通学路等歩行者があるところの除排雪を、丁寧にしてほしい。

1 4 No. 1 4 1

事務事業名	置戸町障がい者活動拠点施設事業補助金 地域福祉センター
評 価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 障がい者や高齢者の活動拠点として、安定的な運営を支援するため、今後も継続すべき。
参考意見	ボランティア不足が心配されることから、広報等で募集するとともに、ボランティアを増やす方法等を検討してほしい。

15

No. 122

事務事業名	流雪溝維持管理 施設整備課
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 流雪溝沿線の排雪により市街地の交通や景観が確保されていることから、継続すべき。
参考意見	投雪時の車両交通の妨げや時間外の投雪が見受けられることから、利用等の周知・徹底を図ってほしい。また、投雪困難者や空き家・空き店舗前等の対策について、利用協議会で討論だけでなく行政支援策等を提案する必要があるのではないか。

16

No. 163

事務事業名	緊急通報システム事業 地域福祉センター
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 高齢者が安心して暮らすためにも継続すべき。
参考意見	高齢化が進んでいることから、災害等に対応していけるよう各種事業と連携した取り組みを望む。

17

No. 206

事務事業名	愛タウンふるさとづくり協議会交付金 社会教育課
評価	<u>「このまま継続」(主管課・内部評価のとおり)</u> 地遊人の募集に苦慮している現状は理解するが、これまでの事業成果からもこのまま継続すべき。
参考意見	「地域おこし協力隊」への移行を検討しているようだが、地遊人制度と別の事業として2本立てで進めてはどうか。

事務事業名	放課後児童クラブ（旧 留守家庭児童会） 社会教育課
主管課評価	<p><b>「内容を変更し継続」</b></p> <p>平成20年12月から現在の専用施設「児童センター」に移転し、落ち着いた環境を子どもたちに提供できるようになった。対象児童についても置戸独自の判断で6年生までに拡大し、土曜開設、さらには子育て支援の一環として共働き世帯に加え農繁期の農業世帯、保護者の通院等の特別な事情による不在時も受入対象に拡大してきた。</p> <p>利用者並びに子育て世代の要望や課題を把握しながら児童の安心安全な保育環境を整え、より良い生活指導を実施するため、代替支援員を除く支援員には幼稚園教諭や保育士、教員の有資格者を優先的に採用し、また、開設時間の延長を希望する声にも応えてきたが、一方で特別支援児童の増大により、支援員の加配が必要な状況が高まり、障害の状況に応じた高度な判断や対応が求められる場面も増大する中で、福祉的・専門的視点での指導が可能な体制への移行が必要な段階にきていると考えられる。</p>
内部評価	<p><b>「内容を変更し継続」</b></p> <p>主管課評価に同じ</p>
外部評価	<p><b>「内容を変更し継続（予算・事業内容：拡大）」</b></p> <p>特別支援児童の受け入れ要望に対応するために、保育士や小学校教諭等の有資格者の安定した継続雇用を図るべき。</p>
理由	<p>資格の有無にかかわらず同一賃金で雇用しており、有資格者の業務量の割合が多い現状から、安定した雇用を継続するためにも有資格者の賃金を上げる必要があるのではないか。</p>

## 置戸町行政評価委員会委員

任 期：平成26年4月1日～平成28年3月31日

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
委 員 長	岩 崎 靖	副 委 員 長	高 階 久美子
委 員	小野垣 裕 樹	委 員	梶 原 成 美
委 員	廣 瀬 望	委 員	道 原 里 枝
委 員	宮 嶋 晶 子		